

気候変動の影響 近畿京都

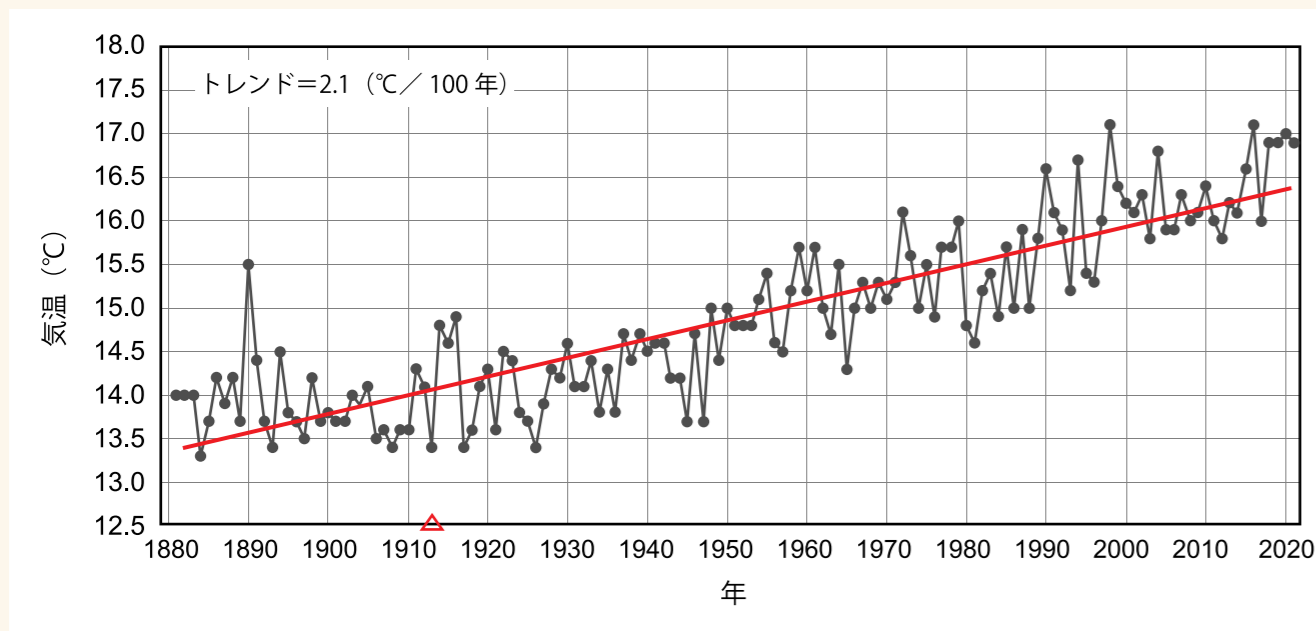


京都でもすでに気温は上昇している

京都では都市化によるヒートアイランドの影響もあり、**100年あたり約2.1℃上昇**しています。
※日本の年平均気温は 100年あたり約1.3℃上昇



京都の年平均気温偏差



(気象庁「京都年平均気温 1881-2021年」より作図)

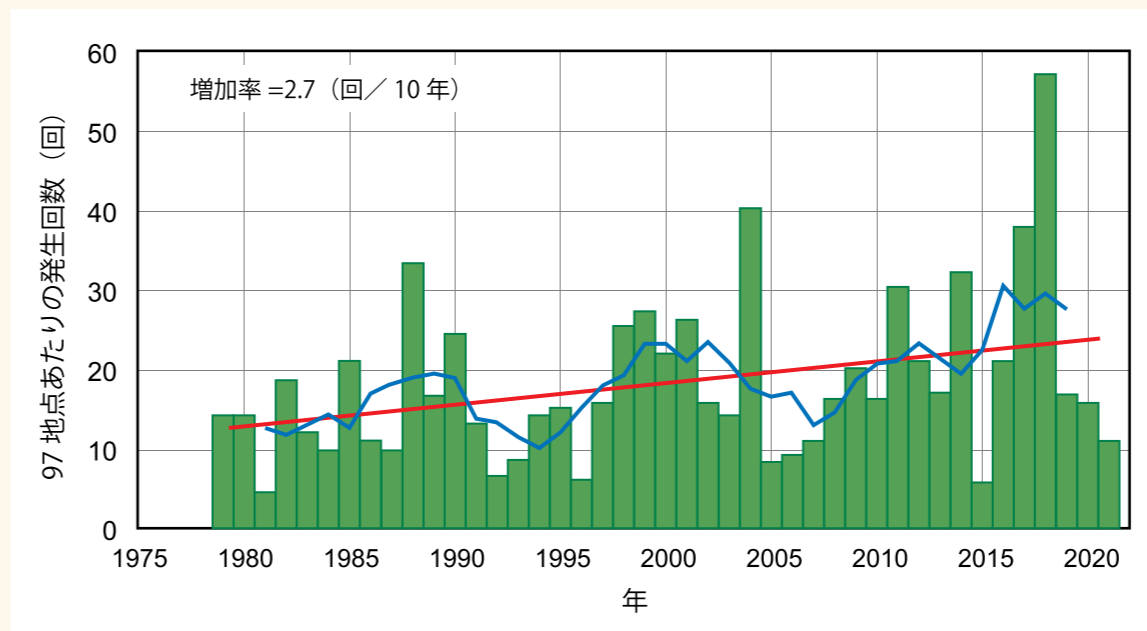


近畿地方でも激しい雨が増えている

近畿地方では、**短時間に降る非常に激しい雨** (1時間降水量50mm以上) の回数には、増加傾向が現れています。



近畿地方の1時間降水量50mm以上の年間発生回数の経年変化



(大阪管区気象台「近畿地方 [アメダス] 1時間降水量50mm以上の年間発生回数」より作図)



例えばこんな影響が...

● 農作物の高温障害が増える



(写真提供：京都府農林センター)

例えば、白未熟粒。高温や日照不足などでデンプンが不足して、外観が悪く食味が落ちる「白未熟粒」は、暑い日が増えると今より増える可能性があります。

● 川の氾濫が増える

激しい雨が増えることで、川の氾濫などの被害が増える可能性があります。



2018年7月

大雨時の鴨川の様子

● 熱中症が増える



夏の気温が高くなればなるほど、熱中症の危険も増えます。



2022年10月

普段の鴨川の様子

